

## (資料)新興・再興感染症研究基盤創生事業(海外拠点活用研究領域)

## 令和8年度公募において研究受け入れ可能な海外研究拠点及び研究中の感染症等一覧

海外研究拠点名	研究開発代表者 所属・職位・氏名	研究受け入れ可能な感染症等	海外研究拠点のホームページ URL
ザンビア	北海道大学 教授 澤 洋文	ウイルス性疾患(アルボウイルス感染症、ウイルス性出血熱、ウイルス性呼吸器感染症、インフルエンザ、COVID-19、狂犬病、MpoX、口タウイルス感染症、等) 細菌性疾患(結核、薬剤耐性腸内細菌科細菌感染症、炭疽、黄色ブドウ球菌感染症、ボレリア、カンピロバクター感染症、回帰熱、紅斑熱群リケツチア症等) 原虫性疾患(トリパノソーマ症、リーシュマニア症、クリプトスボリジウム症、トキソプラズマ感染症、マラリア、等)	<a href="#">人獣共通感染症国際共同研究所国際展開推進部門(ザンビア拠点) (hokudai.ac.jp)</a>
フィリピン	東北大学 教授 押谷 仁	呼吸器感染症、胃腸感染症 (主に小児のウイルス性疾患)	<a href="#">東北大学-RITM 新興・再興感染症共同研究センター(フィリピン拠点) (tohoku.ac.jp)</a>
中国	東京大学 教授 川口 寧	主に、インフルエンザ、フラビウイルス感染症(デング熱、ジカ熱など)、その他関連ウイルス感染症など。	<a href="#">東京大学医科学研究所-アジア感染症研究拠点   トップページ (鳥インフルエンザ・鳥インフルエンザウイルス H7N9 関連情報を開示しています) (rcaid.jp)</a>
ガーナ	東京科学大学 教授 鈴木 敏彦	蚊媒介性感染症(デング熱、マラリア、黄熱など)、ウイルス性下痢症、薬剤耐性菌、ブルーリ潰瘍、新型コロナウイルス感染症、髄膜炎菌感染症、住血吸虫症	<a href="#">ガーナ(野口記念医学研究所共同研究センター)   東京医科歯科大学 国際交流サイト (tmd.ac.jp)</a>
タイ	大阪大学 教授 飯田 哲也	蚊媒介性ウイルス感染症(デング熱、ジカ熱、日本脳炎、チクングニヤ熱)、新型コロナウイルス感染症、細菌性下痢症、ウイルス性下痢症、薬剤耐性菌	<a href="#">研究室   大阪大学微生物病研究所 RIMD 文部科学省共同利用・共同研究拠点 (osaka-u.ac.jp)</a>

コンゴ民主共和国(DRC)	大阪公立大学 教授 城戸 康年	マラリア、新型コロナウイルス感染症、薬剤耐性菌、Neglected Tropical Diseases、cancer-causing pathogens(H. pylori, HBV)、Mpox	<a href="#">新興・再興感染症制御に向けた橋渡し研究 - 大阪市立大学 大学院医学研究科 寄生虫学 (ocuparasitology.com)</a>
インドネシア	神戸大学 教授 森 康子	人獣共通ウイルス感染症、ウイルス性下痢症、デング熱、薬剤耐性菌感染症、原因不明の熱性疾患(感染症)、新型コロナウイルス感染症	<a href="#">神戸大学 インドネシア拠点</a>
インド	岡山大学 教授 三好 伸一	細菌性下痢症、ビブリオ感染症、コレラ・病原性大腸菌感染症、ウイルス性下痢症、口タウイルス感染症、耐性菌感染症(薬剤耐性菌)、サルモネラ感染症(腸チフス)	<a href="#">岡山大学インド感染症共同研究センター   岡山大学インド感染症共同研究センターの公式サイトです。 (okayama-u.ac.jp)</a>
ベトナム	長崎大学 教授 金子 修	蚊媒介性感染症、病原体媒介蚊、呼吸器感染症、下痢性感染症、人獣共通感染症、薬剤耐性菌、エイズ、結核、新型コロナウイルス感染症	<a href="#">ベトナムプロジェクト拠点   長崎大学熱帯医学研究所 (nagasaki-u.ac.jp)</a>
ブラジル	長崎大学 教授 安田 二朗	ウイルス感染症、シャーガス病をはじめとする寄生虫感染症、細菌感染症(要相談)	<a href="#">長崎大学高度感染症研究センター ブラジル拠点</a>

公募要領第2章 2.3.1「本公募に協力可能な海外拠点研究領域の研究開発課題一覧」に記載の通り、本公募枠において、応募者は、応募時に新興・再興感染症研究基盤創生事業(海外拠点研究領域)の海外研究拠点との連携および研究試料(検体や情報、データ等)を確保する目途があり、提案する研究内容の実施に十分な体制を有することが必要です。

応募者は、研究計画を立案する前に、あらかじめ海外研究拠点の研究開発代表者と相談し、利用可能な施設・設備、研究試料・情報等の取得や利用、共同研究を行うことのできる医療機関や研究機関など、海外研究拠点とその設置国についての情報等を得た上で研究計画を立案し、応募前に当該拠点の研究開発代表者の合意を得てください。なお、相談の結果、応募者のご要望に添えない場合もありうることをあらかじめご了承ください。

上記の海外拠点研究領域の研究開発代表者へのご連絡先は、公募要領表紙に記載の<問合せアドレス>にて、「件名:【R8海外拠点活用公募】海外研究拠点研究開発代表者との連絡方法」とし、お問い合わせください。

この際に、①「協力を希望する海外拠点名と研究開発代表者名」、②「提案する研究課題の大まかな内容」について、メール本文に簡潔に記載してください。AMED 事務担当より、①の担当者宛てに②の内容について送付し、先方より取次の許可があれば連絡先を返送致しますので、改めて先方との相談対応を進めてください。